

こもれびの森 ウッドランドクラブ通信 4, 5月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2012年5月25日発行

栗原市字草木沢角間10-7 tel/fax 0228-56-2330

3月に入っても低温が続き雪解けは進みませんでした。連日除雪を行い、4月1日に無事開館いたしました。雪が解け始めると真っ先にミズバショウ、キクザキイチゲ、カタクリなどが次々と競うように咲き出し、チョウも春の日差しの中で気持ち良さそうです。

昨年「こもれびの森ウッドランドクラブ」は毎回盛況でした。開館後は震災の自粛ムードもあり、来館者が伸び悩みましたが5月の連休のあたりからは幼稚園の遠足を皮切りにたくさんの人たちが訪れてくれました。こもれびの森の「ウリ」はなんといっても自然です。虫取り、川遊びで子どもたちは大喜びでした。炊飯場も活用し「食のイベント」では芋煮会やソーメン流し、イワナ塩焼きもやりました。クラフト体験も夏休みの期間中は、親子のたくさんの利用で作業テーブルを増設するくらいでした。

今年も楽しいこもれびの森にしていきます。モットーは、①園内の整備②イベント企画&実施③広報の充実の三点セットです。

職員一同、皆さまのおいでを心よりお待ちしております。

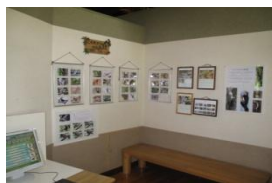


●昨年5月29日、花山地区に南三陸町から避難されていた家族を招待し「記念植樹&山菜づくし」でもてなしました。

●11月23日、花山小学校で開催された「さくら岡まつり」に参加しました。当館はネイチャークラフトを出展。人気の店??いつも満席状態でトイレに行く暇もありませんでした。地域の方から差し入れもあり交流を深めることができました。

●こもれびの森キノコ写真展も開催しました 8~11月

●野鳥写真展は常設です。クラフト品&かご作品販売展示中



●新企画「絵本読み聞かせ」は、幼稚園の遠足で来館したときにやりました。大好評!! 園児たちは行儀がいいですね



春の花はすっかり姿を消しました。ラショウモンカズラがひっそりと咲いています。湿性植物園の池の縁ではカキツバタが鮮やかなムラサキ色が印象的です。

雪が消えたところから芝生には縦横に無数のトンネル、その浅いトンネルは甲虫ビオトープの方へ伸びています。カブトムシの幼虫やミミズを食べに来たようです。犯人は「ヒミズ」でした。



ヒミズ(モグラ科)
体長8~10cm
写真はこども

(今後のウッドランドクラブ) 6~8月分

●6月9日(土) カブトムシの飼い方

●7月28日(土) 川遊び&自然観察とティキャンプ

●8月13日(月) 親子昆虫観察とネイチャークラフト

★通信次月号は、全職員の記事です。新職員も紹介、どうぞ期待!!

